

平成 27 年 11 月 17 日

データサイエンス・オンライン講座
「社会人のためのデータサイエンス入門」の再開講
－ 1 万 5 千人が受講した MOOC 講座 －

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」を本日から再開講します。

- 我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速化させるためには、ビジネスの現場においても、データに基づいて課題を解決する能力の高い人材、いわゆるデータサイエンスを身に付けた人材が不可欠となっています。
- このような状況を踏まえ、総務省統計局及び統計研修所は、“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「社会人のためのデータサイエンス入門」を本年 3 月に開講し、1 万 5 千人を超える多くの方に受講いただきました。
- 皆様からの御要望を踏まえ、本日から、本講座を再開講します。
- この講座は、統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学ぶことができる内容となっています。
本講座紹介用ウェブサイト (<http://gacco.org/stat-japan>) から、受講登録が可能ですので、是非御活用ください。
- また、本講座の続編として、実践編講座「ビジネスで使うデータ分析（仮称）」を平成 28 年春に開講予定です。
- こうした取組を通じて、日本の企業活動の活性化及びオープンデータの利活用を促進し、地方創生に寄与することを期待しています。

(別添資料)

- 参考 1 「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要
- 参考 2 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について
- 参考 3 MOOC とは

(連絡先)

統計局統計情報システム課統計情報企画室
担当：永井課長補佐 高橋係長
電話：03-5273-1023 (直通)
FAX：03-3204-9361
E-mail:y-senryaku@soumu.go.jp

【参考1】

「社会人のためのデータサイエンス入門」の概要

- 日本政府初のMOOC講座
- 1回10分程度×4～7回程度(1週間)×4週間のビデオ講義
- 各週の確認テストと最終テストの実施
- 平成27年3月17日開講(5月18日閉講)
- 社会人を中心に1万5千人が受講
- **平成27年11月17日再開講**



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	コースへの導入、分析事例を通じ、分析に用いる統計的な考え方、データの見方への導入を図る
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の理論的な基礎を学ぶ
3	データの見方	データの見方について基本的な方法を学ぶ
4	公的データの入手とコースのまとめ	誰もが入手可能なデータである公的統計データの入手方法を学び、コースのまとめを行う

【参考2】 経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。

【課題】 我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。



【当面の政策】

統計(データ)リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し、推進。

① 統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設(平成26年6月1日)
パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

② 「データサイエンス・オンライン講座」の開講(平成27年3月17日)

自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義⇒「MOOC」を活用

・「社会人のためのデータサイエンス入門」(平成27年3月17日開講、平成27年11月17日再開講)

・続編講座(実践編講座)の構築(平成28年春開講予定)



➡ 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定)等に基づき推進

【参考3】 MOOCとは

【MOOCとは】(Massive Open Online Courses の略)

- インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了書を発行。

講座選び



受講登録



受講



修了証発行

- ・KHAN ACADEMY: 非営利の教育サイト、初等教育から大学レベルの講義まで。
- ・UDACITY: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、コンピュータサイエンス中心。
- ・Coursera: スタンフォード大学の教員が設立した企業によるサービス、世界の約100大学・機関が講座を開設。東京大学が参加。
- ・edX: MITとハーバードが共同設立した非営利組織、世界の約40大学・機関が講座を開設。京都大学が参加。

【地域MOOC】

- 自国の大学が提供する母国語でのサービスの必要性が高まり、各国で開設。
 - ・FutureLearn(英国)、France Université Numérique(フランス)、XuetangX(中国)、miriada X(スペイン)、EDRAAK(ヨルダン)、The Open University of Israel(イスラエル)



【日本の状況】

- 日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」(日本オープンオンライン教育推進協議会)が平成25年10月に発足。26年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。